

2007年9月13日

商用車向けに車両管理サービス事業を開始

～日本初、動画記録型ドライブレコーダーを利用したインターネットサービスを実現～

三菱商事は、関連会社のジュー・データシステムズ株式会社および三菱オートリース株式会社を通じて、10月1日より商用車向け車両管理サービスであるテレマティクスサービス事業に進出します。

テレマティクスは、ITを活用した自動車向け情報サービスの総称ですが、このたび関連会社両社が商用車のコンプライアンス(法令遵守)や環境対策に有効なシステムを共同開発し、日本で初めてとなる、動画記録型ドライブレコーダーを利用したインターネット車両管理サービスを実現しました。

本サービスは、コンプライアンス意識の高まりや改正省エネ法の施行など、企業のニーズや取り巻く環境が大きく変化している中、商用車の車両管理という観点から経営リスクを可視化するツールとして、企業経営に貢献するものです。

ドライブレコーダーに搭載されたカメラにより、急発進や急停車あるいは交通事故時に前後15秒の動画が記録されるのに加え、GPSによる位置情報、ブレーキ、速度の状況が記録されます。これらデータをジュー・データシステムズのセンターで一元管理し、交通事故発生時の動画提供によって事故の迅速解決を支援するだけでなく、ヒヤリハット回数(事故一步手前の危険運転)、最高速度、移動軌跡を集計・表示します。また、ますます重要となってきている環境対策サービスとして、アイドリング時間、移動距離・時間を記録し車両毎のCO2排出量を自動的に算出します。集計したデータは全てインターネットを通して顧客に提供されるため、利用者はサーバ設備に投資する必要が一切なく、高機能なサービスを直ちに利用できます。

今後、両社でトラックや営業車など商用車に広く展開していく予定です。手始めにジュー・データシステムズは、社団法人東京都トラック協会の「安全装置(映像記録型ドライブレコーダー)装着に関する助成事業」の助成対象機器を採用することで、東京都トラック協会会員企業が助成金を申請できるようにしました。また、2007年10月1日付でダイヤモンドオートリース株式会社との合併により拡大する三菱オートリースの顧客基盤を活かし、メンテナンスの一環としてオートリースの付加価値サービスとして提供することで顧客数の増大を図っていきます。

以上

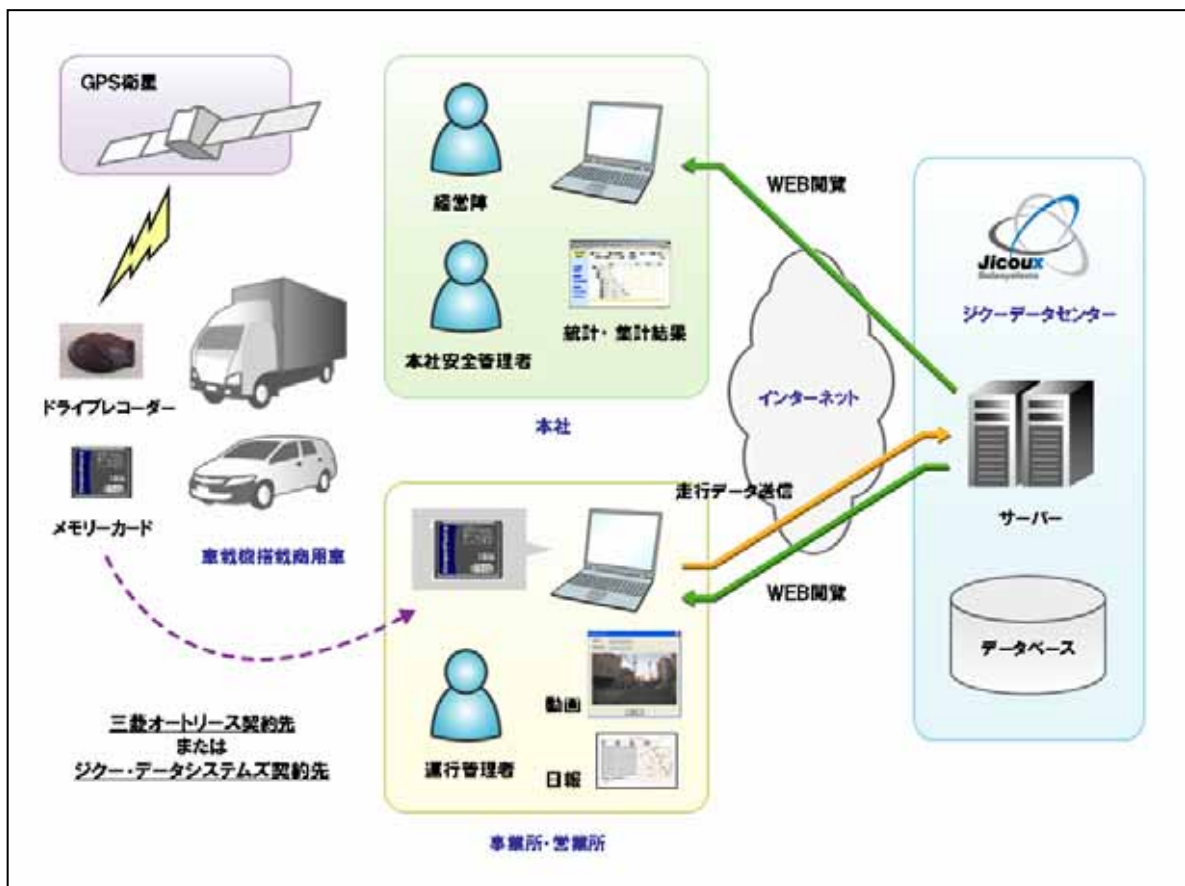
ジクー・データシステムズ株式会社の概要

- (1) 代表者 : 竹内良一
- (2) 資本金 : 1.5 億円
- (3) 設立 : 2002 年 3 月
- (4) 事業内容 : GPS や電子地図用位置・空間情報ソフトウェア、サービスの開発・販売
- (5) 株主 : 三菱商事株式会社 100%

三菱オートリース株式会社(合併後新会社)の概要

10 月 1 日にダイヤモンドオートリース株式会社と合併予定。

- (1) 代表者 : 藤川純太(10 月 1 日就任予定)
- (2) 資本金 : 9.6 億円
- (3) 設立 : 1972 年 1 月
- (4) 事業内容 : オートリース事業 メンテナンスサービス事業
- (5) 株主 : 三菱オートリース・ホールディング株式会社(三菱商事株式会社 50%、三菱 UFJ リース 50%出資)



全体構成図